

「若年者における出生年別のピロリ菌感染率及び感染様式 の解明とピロリ菌関連疾患の遺伝要因と環境要因の交互 作用の検討」

以前に J-MICC Study 京都フィールド 3 にご協力いただいた方々の調査票や血液情報を使って下記の研究をあらたに実施しています。

この研究は名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野と共同で実施されるものであり、研究を実施することについては、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、承認されたうえで、研究を実施する研究機関の長から研究を実施することについての許可を受けています。また委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかる規定等は、以下のホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

研究の目的

ピロリ菌感染は胃がんをはじめ、萎縮性胃炎や鉄欠乏性貧血などの原因であることはよく知られており、現在、ピロリ菌の除菌治療の保険適用が拡大され、除菌治療者が増加しています。除菌治療による萎縮性胃炎などのピロリ菌関連疾患に対する影響は十分に検討されていませんが、ピロリ菌関連疾患への除菌治療の影響が明らかになることで、ピロリ菌関連疾患の有効な治療法を確立するための重要な知見を得ることが期待できます。

本研究では、日本多施設共同コホート研究 岡崎研究と日本多施設共同コホート研究 京都フィールドが共同で解析を行い、ピロリ菌の除菌治療が萎縮性胃炎などのピロリ菌関連疾患の発症や進展にどのような影響を与えるのかを検討することを目的としています。の研究協力者のベースラインデータとその後の追跡調査等のデータを用いて検討することを目的とします。

研究の方法

・対象となる方について

2011年4月から2012年12月までの間に、京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学教室実施の日本多施設共同コーホート研究(J-MICC)京都フィールド3の研究に参加者して下さった方

・研究期間： 医学倫理審査委員会承認後～2028年3月31日

・方法

J-MICC 京都フィールド3 ベースライン調査と追跡調査においての、ピロリ菌除菌情報を含む消化器疾患に関する質問調査、血清ピロリ菌抗体価、血清ペプシノゲン等の測定値を用いて、萎縮性胃炎や鉄欠乏性貧血などのピロリ菌関連疾患の発症、進展について、遺伝要因と飲酒・喫煙・食習慣、親のピロリ菌感染の有無などの環境要因との交互作用、ピロリ菌除菌治療の影響について検討します。

・研究に用いる試料・情報について

情報：ベースライン調査と追跡調査での生活習慣等の質問票内容とピロリ菌除菌情報を含む消化器疾患に関する質問票内容および血清ピロリ菌抗体価、血清ペプシノゲン等の血液測定結果 など

試料：なし

・外部への試料・情報の提供

この研究は名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野へデータを送付し解析を行う予定です。提供の際、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

提供先：名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野

・個人情報の取り扱いについて

J-MICC Study 京都フィールド3にご協力いただいた方々の調査票や血液の情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などのご協力いただいた方々を直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。ご協力いただいた方々と研究用の番号を結びつける対応表のファイルは京都府立医科大学で保管します。ファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。

また、この研究の成果を発表する場合にも、ご協力いただいた方々が特定できる情報を

使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究代表者（名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野 技術職員/研究員 渡邊美貴）の責任の下、厳重な管理を行い、ご協力いただいた方々の情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

研究組織

研究責任者

京都府立医科大学地域保健医療疫学 学内講師 尾崎悦子

研究代表（統括）者

名古屋市立大学大学院医学研究科公衆衛生学分野 技術職員/研究員 渡邊美貴

お問い合わせ先

ご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて参加して下さった方もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2022年6月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学地域保健医療疫学

学内講師 尾崎悦子 電話：075-251-5770